

社会資本総合整備計画 事後評価書															
計画の名称	第2次枚方市安全・安心下水道整備計画（防災・安全）														
計画の期間	平成27年度 ～ 平成31年度（5年間）												重点配分対象の該当		
交付対象	枚方市														
計画の目標	下水道事業を推進することにより「安全・安心な市民生活の確保」を目指し、枚方市上下水道ビジョンに掲げる下水道の役割の実現を図る。														
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		5,006	A	5,006	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(H27当初)	(H29末)	(H31末)
1	楠葉排水区において計画降雨（10年確率降雨）に対する主要な幹線管渠の整備率を44.3%（H27）から59.0%（H31末）に向上させる。 楠葉排水区における主要な幹線管渠の整備率 主要な幹線管渠整備済み延長（m）／主要な幹線管渠延長（6,101m）			
		44%	59%	59%
2	溝谷川ポンプ場の沈砂池及び沈砂池設備の整備率を25.0%（H27）から100.0%（H31末）に向上させる。 溝谷川ポンプ場の沈砂池及び沈砂池設備の整備率 沈砂池及び沈砂池設備の整備済み池数（池）／沈砂池及び沈砂池設備を整備すべき池数（4池）			
		25%	25%	100%
3	新安居川ポンプ場のポンプ能力を34.4%（H27）から78.3%（H31末）に向上させる。 新安居川ポンプ場のポンプ能力 整備済みポンプ能力（m3／s）／整備すべきポンプ能力（19.833m3／s）			
		34%	34%	78%
4	さだ排水区における浸水被害軽減計画に計画されたハード施設を33.3%（H27）から100.0%（H31末）に向上させる。 さだ排水区における浸水被害軽減計画に計画されたハード施設の整備率 整備済みハード施設（基）／整備すべきハード施設（3基）			
		33%	67%	100%
5	総合地震対策に計画された管渠の整備率を7.2%（H27）から100.0%（H31末）に向上させる。 総合地震対策に計画された管渠の整備率 計画された整備済み管渠延長（m）／計画された整備すべき管渠延長（1,800m）			
		7%	89%	100%
6	楠葉排水区における浸水被害軽減計画に基づきハード施設の実施設計を行い（H28）、ハード整備率を0.0%（H29）から69.1%（H31末）に向上させる。 楠葉排水区における浸水被害軽減計画に計画されたハード施設の整備率 整備済みハード管渠延長（m）／整備すべきハード管渠延長（1,556m）			
		0%	0%	69%

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	枚方市	直接	枚方市	管渠（ 雨水）	新設	楠葉排水区船橋本町雨水 管渠	シールドφ1,500、L=895m	枚方市	■	■	■			1,135	－	－
	A07-002	下水道	一般	枚方市	直接	枚方市	管渠（ 雨水）	新設	さだ排水区浸水対策	貯留施設N=1、貯留管φ3,500 mm、L=1,232m	枚方市	■	■	■			1,254	－	策定済
		下水道浸水被害軽減総合計画、平成30年度から重点計画に移行																	
	A07-003	下水道	一般	枚方市	直接	枚方市	ポンプ 場	新設	溝谷川ポンプ場増設	沈砂池及び設備N=3	枚方市	■	■	■			242	－	－
		平成30年度から重点計画に移行																	
	A07-004	下水道	一般	枚方市	直接	枚方市	ポンプ 場	新設	新安居川ポンプ場、他	用地・流入渠・沈砂池・導水 渠・本体・吐出水槽・ポンプ 設備・電気設備	枚方市	■	■	■			1,450	－	－
		平成30年度から重点計画に移行																	
	A07-005	下水道	一般	枚方市	直接	枚方市	管渠（ 污水）	改築	下水道総合地震対策事業 （短期）	管路施設L=1,800m、ポンプ施 設N=2	枚方市	■					9	－	策定済
		下水道総合地震対策計画、種別 1 は外にポンプ場を含む。																	
	A07-006	下水道	一般	枚方市	直接	枚方市	管渠（ 污水）	改築	下水道総合地震対策事業 （中期）	計画策定及び耐震診断・調査	枚方市				■	■	12	－	策定済
		下水道総合地震対策計画、種別 1 は外に管渠（雨水）、ポンプ場を含む。																	

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-007	下水道	一般	枚方市	直接	枚方市	管渠（ 雨水）	新設	楠葉排水区浸水対策	雨水貯留管φ5,000、L=1,021 m、流入管φ600～2,000、L=5 35m	枚方市		■	■			726	－	策定済
		下水道浸水被害軽減総合計画、平成30年度から重点計画に移行																	
	A07-008	下水道	一般	枚方市	直接	枚方市	管渠（ 汚水）	改築	下水道長寿命化事業	点検・調査、計画策定、実施 設計、対策工事（管路施設）	枚方市		■	■	■	■	61	－	策定済
		下水道長寿命化計画。種別 1 は外にポンプ場を含む。ポンプ場（遠方監視装置）の対策工事については平成30年度から重点計画に移行																	
	A07-009	下水道	一般	枚方市	直接	枚方市	管渠（ 汚水）	改築	下水道ストックマネジメ ント事業	点検・調査、計画策定、実施 設計（ポンプ場）	枚方市			■	■	■	117	－	策定済
		下水道ストックマネジメント計画、種別 1 は外に管渠（雨水）、ポンプ場を含む。																	
											小計						5,006		
											合計						5,006		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

事後評価の実施時期

枚方市上下水道局において評価を実施し、枚方市上下水道事業経営審議会に意見を求めた。

令和4年11月

公表の方法

枚方市ホームページに掲載

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

・ 下水道施設の整備により、浸水被害の軽減に繋がり、安全で安心して暮らせるまちづくりに寄与することができた。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○特記事項（今後の方針等）

・ 計画期間が令和2年度から令和6年度までの「第3次枚方市安全・安心下水道整備計画（防災・安全）」においても、安全で安心なまちづくりに寄与するため、下水道施設の整備・更新を進める。

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1			
	最 終 目標値	59%	継続的に雨水整備を進め、目標を達成することが出来た。
	最 終 実績値	61%	
2			
	最 終 目標値	100%	継続的にポンプ場整備を進め、目標を達成することが出来た。
	最 終 実績値	100%	
3			
	最 終 目標値	78%	継続的にポンプ場整備を進め、目標を達成することが出来た。
	最 終 実績値	78%	
4			
	最 終 目標値	100%	継続的に雨水整備を進め、目標を達成することが出来た。
	最 終 実績値	100%	
5			
	最 終 目標値	100%	継続的に耐震化事業を進め、目標を達成することが出来た。
	最 終 実績値	100%	

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
6			
	最 終 目標値	69%	現場施工時に貯留管の位置について再検討を行ったことにより、当初計画の目標値に対して差が生じたため。
	最 終 実績値	66%	

計画の名称	第2次枚方市安全・安心下水道整備計画（防災・安全）		
計画の期間	平成27度 ～ 平成31年度（5年間）	交付対象	枚方市

